

聴覚障害者陸上競技選手表敬訪問

障害者スポーツの認知度を高める

9月30日に行われた「第14回日本聴覚障害者陸上競技選手権大会」で、砲丸投で全国1位、円盤投で全国1位、やり投で全国3位の成績を収めた小関雄太さんが10月13日に根本市長を表敬訪問しました。仕事をしながらトレーニングを続け、3年後の世界大会への出場を目指しているという小関さん。聴覚障害者スポーツについて「まだまだ認知度も低いのが現実。日本選手権で選手は同じ条件で出場するため、補聴器や人工内耳も外します。それにより、音が全く聞こえずバランスを崩し、記録が落ちてしまいます。ただ練習は楽しい。記録が伸びるから」と語ります。根本市長は「市内に世界で活躍する素晴らしい選手がいることを誇りに思います」と激励しました。



オーストラリア・オレンジ市から留学生

おくのキャンパスに留学生

牛久市では奥野小学校と牛久第二中学校を「おくのキャンパス」とし、特色ある教育を行っています。その中で10月6日から13日に両校の子どもたちと日ごろからスカイプで交流しているオーストラリア・オレンジ市のOrange Angrecan Grammar School (OAGS)の生徒等10人が牛久市を訪れ、奥野地区の家庭にホームステイをしました。滞在中、生徒たちは学校を訪問し、書道や給食の体験。滞在最後の12日の夜にはさよならパーティを開催。OAGSの生徒たちは「奥野の人は温かい。ありがとう」とお礼をの言葉を日本語でスピーチしました。



▲市役所を表敬訪問



▲奥野小で給食体験

マスターズ陸上選手表敬訪問

金銀銅メダル獲得！

10月1日に第18回東日本マスターズ陸上競技大会2017でM80クラス(80～84歳男子クラス)100mで1位、ボール投げで2位、60mで3位の成績を収めた飯島繁さんが10月5日に根本市長を表敬訪問しました。けがの治療中で、最初は出場を諦めていたとのこと。しかし「何事も気力」と挑戦したそうです。「意欲・努力・忍耐。やる気があればいつか夢は叶う。」と力強く語りました。



生涯スポーツ優良団体として受賞

楽しく、スポーツ吹矢

牛久市スポーツ吹矢協会が文部科学大臣より生涯スポーツ優良団体として受賞した報告に10月17日、根本市長を表敬訪問しました。同協会は市内で5支部に分かれ、約110人で活動しています。同協会の相原光生会長は「今年で活動を始めて11年目。名誉ある賞を受賞できたことはうれしい。これからもスポーツ吹矢を普及させていきたい」と話していました。



稲敷地区6市町村放射能対策協議会

東京電力に原発事故
損害賠償請求

10月17日、稲敷地区6市町村放射能対策協議会(会長：根本洋治牛久市長)は東京電力ホールディングス(株)に対して、平成28年度分の放射能対策経費として、6市町村合計で約1,997万円の損害賠償請求をしました。このうち牛久市分は999万円です。当日は、請求書を手渡した後、各首長とともに、これまで請求を行った経費の未払い分の早急な支払いを求めました。





災害時における生活物資等の調達および共有に関する協定

避難生活のストレスを軽減する段ボールベッド

10月6日、牛久市と大和紙器株式会社が「災害時における生活物資等の調達および供給に関する協定」を締結しました。この協定により、災害が発生したとき(または災害の恐れがあるとき)に住民等を救助するための生活物資(段ボール製簡易ベッド、段ボールシート、段ボールケース等)の供給を受けることができるようになりました。組み立てが簡単で荷物を入れるスペースもあり、保温性にも優れた段ボールベッド。実際に使用した根本市長は「固すぎず柔らかすぎず、冷えないので寝心地がいい」と感想を話し、大和紙器株式会社つくば工場長伊藤幸次工場長は「防災訓練にも参加し、避難生活のストレスを少しでも軽くするために協力していきたい」と話していました。



新しくかっぱつ体操完成

誰でもできる体操ができました

うしくかっぱつ体操が「長い」「きつい」と感じている皆さんのために、少しゆるやかな体操、「新しくかっぱつ体操」ができました。ぜひ、皆さんの運動メニューに取り入れてみてはいかがでしょうか。体操は、「ウォーミングアップ」4分、「メイン」6分、「クールダウン」3分で構成され、それぞれの運動を分けて実施することもできます。今後は、地域の区民会館などでかっぱつ体操普及員により普及していきます。体操については高齢福祉課(☎内線1752)まで。



▶体操は市ホームページから見るができます

牛久市空家バンク媒介に関する協定

空家問題解消を目指す

牛久市では市内の空家を有効活用して定住促進を図るため「空家バンク制度」を創設しました。それに先がけ、9月29日に(公社)茨城県宅地建物取引業協会と「牛久市空家バンク媒介に関する協定書」の調印式を行いました。根本市長、張替武敏同協会会長は共に「空家は、現在全国的な問題。両者協力し、少しでも解決していきたい」と話していました。(関連記事P・3ページに掲載)



災害時における施設使用に関する協定

災害時、市と警察が協力

10月6日、牛久市と牛久警察署が「災害時における施設使用に関する協定」を締結しました。これは大規模災害が発生し、牛久警察署が使用不能になった場合などに市の施設を警察の代替施設として使用できるようにするものです。桑原牛久警察署長は「災害時は初動体制の確立が大切です。今回の締結により常に警察の機能が低下することがないように心がけたい」と話していました。



包括連携協定締結

市民の健康増進のために

牛久市と第一生命保険株式会社は包括連携協定を締結しました。今後、両者は市民の健康増進やスポーツ振興、子育て支援等に連携して取り組んでいきます。根本市長は、「市も力を入れている分野で多くのニーズがある。様々なことでコラボできれば」と話し、第一生命保険株式会社小嶋秀之柏常総支社長は、「豊かで安心な社会の形成や持続的な発展に貢献できれば」と話しました。



第10回うしくみらいエコフェスタ開催

楽しく環境問題取り組む

第10回うしくみらいエコフェスタが10月15日に開催されました。当時はあいにくの雨でしたが、約5,400人の来場者がありました。今年は子どもたちによる「エコサミット」が開催。また、会場内には、市内の保育園、幼稚園児、小中高生が作成した「うしく、うつくしく、みらいへ！」がテーマの絵画が飾られました。来場者は、様々な形でエコに触れた一日となりました。



会場内を飾った子どもたちが作った絵画

戦没者追悼式開催

14年ぶりの開催

10月15日、我が国の平和と繁栄の礎となった戦没者の尊い犠牲に思いを致し、改めて弔意を表するため、戦没者追悼式が中央生涯学習センター多目的ホールで開催されました。牛久市での開催は平成15年以来14年ぶり。当日は市、県の関係者や牛久市遺族連合会会員の方が参列しました。根本市長は、「戦後から72年経つが、私たちには戦争の悲惨さを風化させず、豊かな社会をつくる使命がある」と話しました。



秋の全国交通安全運動

運転はいつでも「新米」

9月21日～30日の「秋の全国交通安全運動」に合わせて、9月21日、栄町3丁目交差点において街頭キャンペーンを行いました。参加者は運転者や歩行者に啓発品を配布しながら、交通事故防止を呼び掛けました。参加した高校生は、「365日毎日交通安全に気をつけたい。これから日が短くなるので、早めのライト点灯を呼びかけたい」と話してくれました。



寄 付 温かい善意ありがとうございます

●岡田地区スポーツ交流会ゴルフ大会のチャリティー募金を寄付

岡田地区スポーツ交流会(鶴長文正会長)では、地区住民の生涯健康と親睦を目指し、さまざまな事業を開催しています。9月4日に行われたゴルフ大会は、今回で22回目を数え、186人が参加し、盛大な大会になりました。参加者は日ごろの練習成果を発揮しつつ、健康増進や交流に努めました。大会終了後には、チャリティー募金を行い、集まった寄付金18,473円は、鶴長会長より牛久市社会福祉協議会へ全額寄付していただきました。



●牛久市商工会から寄付

10月6日に牛久市商工会の役員の方が根本市長を訪問し、日本赤十字社牛久地区に23,000円の寄付をいただきました。これは9月に商工会役員で開催されたチャリティーゴルフ大会で集めたもので、7月5日からの九州の大雨災害義援金として被災者の支援に使われます。商工会代表の方は「災害に遭われた方々を少しでも支援できたら」と話していました。

宝くじの社会貢献広報事業による助成
宝くじで地域コミュニティ活動を活性化

女化西行政区(田井鉄男区長)では、財団法人自治総合センターからコミュニティ助成事業で250万円の助成を受け、女化西区区民会館で使用する椅子や椅子専用台車を購入しました。同センターでは、宝くじの普及広報の一環として全国宝くじの売上金の一部を財源に、地域コミュニティ活動の健全な発展を図るための助成事業を実施しています。



スポーツの秋！市内各地で運動会開催

●市内3地区で市民体育祭開催

10月8日、牛久・岡田・奥野の各地区で市民体育祭が開催されました。天候に恵まれたこの日は多くの市民が参加しました。各地区では毎年恒例のヘルシーボールを後ろの人に送る「順送球」や地区独自の競技で熱戦が繰り広げられ、子どもから大人まで、参加者たちはスポーツを通して交流を深めた一日となりました。



白熱の綱引き！（写真は岡田地区）

●保育園で運動会開催

10月、市内各保育園でも運動会が開催されました。今年は悪天候が続き、順延で予定どおり開催できなかった保育園がほとんど。ここ下根保育園では10月18日に開催されました。実施された競技は少なくなりましたが、待ちに待った運動会に子どもたちは元気に競技に参加。応援と歓喜の声が園庭に響き渡っていました。



年長さんのリレー。がんばれアンカー！

100歳、まだまだ元気

今年度市内で100歳を迎える方は11人。そのうちの一人、中根町の浅野つねさん宅を9月15日に根本市長が訪問し、褒状と祝い品を贈呈しました。笑顔が素敵な浅野さんはとても手先が器用とのこと。デイサービスではかごを編んで楽しんでいるそうです。「元気の秘訣は？」の問いかけには「食べたいものは自分で買います。毎日が楽しいからかな」と答えてくれました。



笑顔が素敵な浅野さん

牛久産小麦「ゆめかおり」

牛久産小麦がおいしく大変身！

●未来のパティシエがスイーツを考案

9月26日に市内、つくば栄養医療調理製菓専門学校の製菓製パン学科の学生による牛久産小麦「ゆめかおり」を使ったスイーツの作品発表会が行われました。当日は小麦生産者の安部真吾さんも来校しました。目新しいメニューを試食した安部さんは、「とてもいい出来上がりで驚きました。どんな食材でもその良さが引き出せる一流のパティシエになってください」と学生たちを激励しました。



1

●うしくをたべちゃお！「うしくらすく」

牛久産小麦「ゆめかおり」を100%使用したラスクができました。その名も「うしくらすく」。「ミルク」、「きなこ」、「コーヒー」、「カレー」の4つの味で牛柄のラベルと牛久農産物の使用をPRする「うしくをたべちゃお」のシールが目印です。このラスクは市内の社会福祉法人みなの郷で製造され、敷地売店「スペースあい」で購入できます。サクサクした食感がやみつきになる「うしくらすく」。噂によると、ラーシク家族も大好物だとか…ラーシクと牛久の食材をいっぱい食べちゃお！



2

- 1 アイディア溢れるスイーツがたくさん考案されました。学生たちもお互いのスイーツに舌鼓
- 2 パッケージにも牛久市らしさが溢れるラスクです



向台小で牛久産ブルーベリー蒸しパン

目の愛護デーにちなんだパンが登場

10月10日、目に良い食べ物を「知って・学んで・食べて」も
らいたいと、向台小学校の給食に目に良いメニューが登場し
ました。今日の献立は、スパゲティペスカトーレ・牛乳・和風
チキンサラダ・にんじんと牛久市産ブルーベリーの目力アッ
プ蒸しパンでした。にんじんと牛久市産のブルーベリーの蒸
しパンは、今回初めてチャレンジしたメニュー。地元の食材
を積極的に使おうと、女化にあるブルーベリー園のブルーベ
リーを使用しています。子どもたちに「牛久市産のブルーベ
リーはおいしい？」と質問すると、「美味しい！おうちでも育
てているよ。」と答え
てくれました。



子どもの中には、「牛
久市の給食美味しい
んだよね！僕、知っ
てるよ！」と自校式
給食をよく勉強して
いる子もいました。

「牛久の日」給食

野菜本来の味、美味しい♪



10月20日、「牛久の日」給食が市内
公立小中学校、公立保育園・幼稚園、
社協保育園で実施され、牛久産りん
ご「陽光」や、牛久の野菜をたっぷり
使った味噌汁や豚肉の炒め物などが
並びました。「りんごがみずみずしく、
野菜がシャキシャ
キしている」と子
どもたちも大満足
の様子でした。



1204号

2017 11月1日号
平成29年11月1日発行

発行・編集 牛久市広報政策課
〒300-1292 茨城県牛久市中央3丁目15番地1

TEL 029-873-2111
FAX 029-873-2512
HP http://www.city.ushiku.lg.jp/

今月の
たいへんよくできました

上町ふれあい保育園のお友だち

うんどうかい ぞうぐみ

▲入門には綱引きをしているみんなの似顔絵

上町ふれあい保育園のお友だちは運動会を行いました。当日はあいにくの雨。体育館での開催となりましたが、みんな一生懸命に競技に参加しました。「一番、楽しかったのは何？」の問いかけには「リレー！赤・青・黄色のチームに分かれたんだよ」と声を揃えて教えてくださいました。

いきいき茨城ゆめ国体2019 第74回国民体育大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

空手道 2019 9/28~30 牛久運動公園体育館

軟式野球 2019 10/4・5 牛久運動公園野球場